



京都部会(第 21 回)

日 時: 2013 年 9 月 27 日(金) 19:00~21:00

場 所: 同志社大学 良心館

参加者: 篠原総一(同志社大学)、下村和平(山城高校)、奥村光太郎(伏見中学校)、大谷和海(関西大  
学中高等部)、川上敏和(同志社大)、中藤勉(嵯峨野高等学校)、柳史郎(安曇川高校)、  
西村理(同志社大)、上ノ山賢一(同志社大)、絹川温子(同志社大)【順不同】

【内容要旨】

- (1) 去る 8 月に開催された「先生のための夏休み経済教室」のアンケート調査を交えて、経済教室への参加者による意見交換がなされた。今回初めて取り入れた現場の先生とエコノミストによるプログラムは、当初目指していた協同作業としては未消化の部分があり、今後の検討課題として残された。また、講演者の話が経済教育ネットワークの趣旨と必ずしも一致した内容とは言えないという指摘もあった。
- (2) 続いて、篠原総一氏より、札幌で開催された「先生のための経済教室」についての報告があった。バランスの取れた内容のプログラムで好評であった。また、名古屋で「部会」を立ち上げる準備を進めていることも報告された。
- (3) 報告のあと、篠原総一氏より札幌で報告された「市場と価格の考え方、教え方」が紹介された。そこでは、“社会科「経済」で何を学ぶのか”をもう一度再検討して、社会の仕組みを教える内容についての提言がなされた。そのポイントは、①制度・法・慣習を踏まえた仕組みの成り立ちを理解する。②仕組みの役割を理解する。③仕組みのあり方を考え、効率と公正を考え方の基礎にすることが示された。

(文責: 西村理)

次回開催予定: 2013 年 12 月 6 日(金) 19:00~21:00 (同志社大学 良心館)